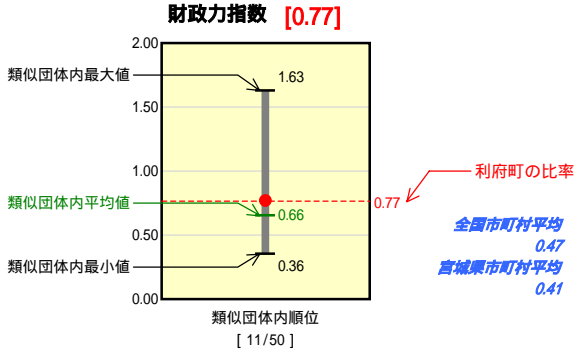


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

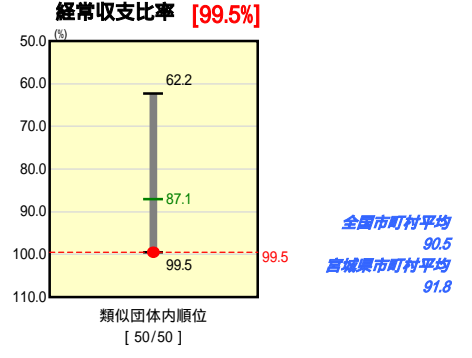
宮城県 利府町

人口	32,517人(H17.3.31現在)
面積	44.75 km ²
歳入総額	9,329,804千円
歳出総額	8,964,092千円
実質収支	324,826千円

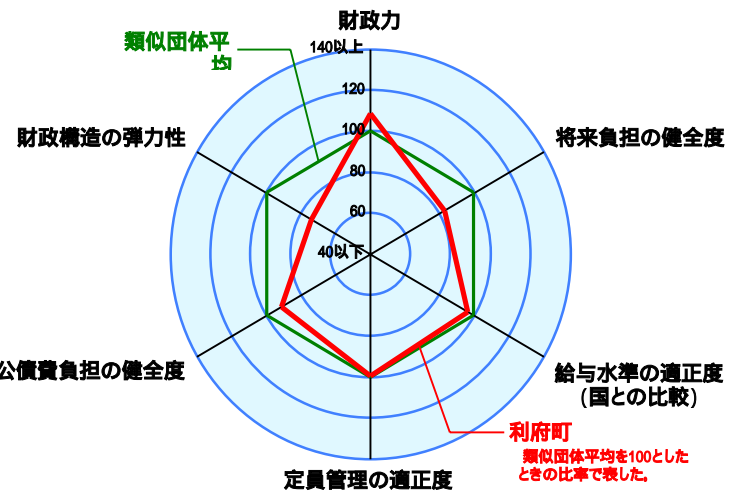
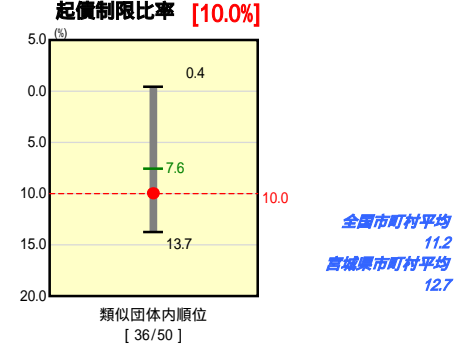
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析概

財政力指数

- 新幹線車両基地や大型店舗などの開設により、類似団体平均を上回る税収があるため、0.77となっている。近年、上昇傾向(平成14年度から0.1%上昇)であるが、今後も歳入の徹底した見直し(平成17年度から予算の枠配分制導入)や行政の効率化に努めるとともに、税収の徴収率向上対策など歳入確保に努めることにより、財政力指数は上昇するものと考えられる。

経常収支比率

- 平成16年度は、地方債の一部一括償還に伴い公債費が大幅に増加したことにより99.5%と高い値となっている。一括償還を除いた値では91.5%となっており宮城県平均値に近いもの。今後は経常経費の削減を図るため、事務事業の見直しを進めるとともに、事務事業の優先度を厳しく点検していく、町税等の増加施策の推進とも相まって、経常収支比率の改善が図られるものと考えられる。

起債制限比率

- 平成16年度でも説明したとおり、地方債の一部一括償還に伴い、平成16年度では類似団体平均をやや下回る10.0%となっている。近年行ってきた起債抑制策を引き続き行い、大規模な事業計画の縮小・見直しを図るなど、起債依存型の事業実施を見直し、今後5年間で類似団体の水準である7.6%まで低下させる。

人口1人当たり地方債現在高

- 近年の人口急増に伴う都市化に伴い、小中学校の建設や庁舎建設など大型プロジェクトの関係で類似団体平均を上回っているため、新規発行債の抑制を行っており、地方債現在高は確実に減少している。

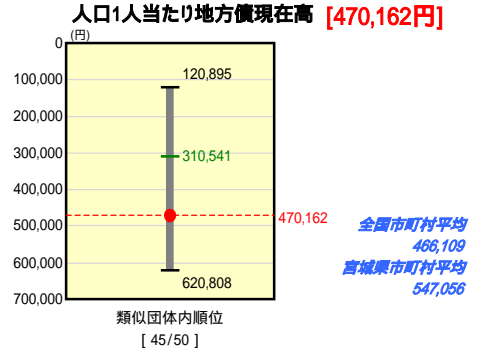
ラスパイレス指数

- 人事院勧告に準じた給与改定及び各種手当の見直し等により、職員給与適正化に努めているが、全国及び類似団体平均と比較すると若干高い水準となっている。平成18年4月から給与構造改革を実施し、今後も職員給与の適正化に努めている。

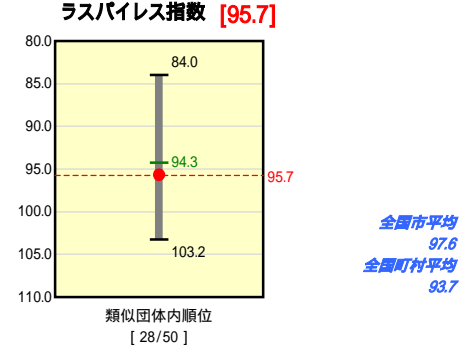
人口1,000人当たり職員数

- 類似団体平均とほぼ同水準であり、全国市町村平均を下回っている。定員モデル及び類似団体職員数の状況との比較等により策定した定員適正化計画に基づき、今後も引き続き、職員数の抑制を図っていく。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

